

全国健康保険協会業績評価検討会 説明資料

IV. その他

平成29年9月19日

全国健康保険協会業績評価シート(その他)

事業主との連携・連携強化への取組

評価の視点

- 支部管内の事業主との連携を進めるため、どのような取組を行っているか。保健事業の推進などについて、よりよい協力関係を築き、事業主等との連携強化を図っていくため、どのような取組を行っているか。

自己評価

A

※評価欄の判定基準は、S・A・B・C・D

【判定基準】S:平成28年度計画(以下、計画という。)を大幅に上回っている A:計画を上回っている B:計画を概ね達成している
C:計画を達成できていない D:計画を全く達成できておらず、大幅な改善が必要

【評価のポイント】

<事業主との連携強化>

○事業主との連携強化のための健康宣言事業を実施しており、健診受診や保健指導の実施、生活習慣の改善等、健康づくりの推進を宣言した事業主に対して、「事業所健康度診断シート(事業所カルテ)」等を作成し、その事業所特有の健康課題を分析・可視化して、健康課題の解決、職場環境の改善に向けた対策を講じる等、連携した取組を行いました。また、コラボヘルスの更なる推進を図り、28年7月に開催された「日本健康会議2016」において、協会全体では2,953事業所(28年6月調査)で健康宣言が行われている旨の報告を行った。28年度末時点では、46支部10,318事業所において健康宣言が行われており、日本健康会議において示された平成32年(2020年)までの数値目標の1万社以上を前倒しで達成した。また、経済産業省において「健康経営優良法人認定制度」の運用が始まり、29年2月に開催された「健康経営優良法人2017」では、中小規模法人82事業所、大規模法人8事業所が協会けんぽの事業所の中から認定された。

○このように、28年度は計画を上回る成果を上げたことから、自己評価は「A」とした。

【事業計画の達成状況】

<事業主との連携強化> (事業報告書 P78～P79)

○協会ではコラボヘルスの取組の一つとして、健康宣言事業を実施している。健康宣言事業とは、健診受診や保健指導の実施、生活習慣の改善等、健康づくりの推進を宣言した事業主に対して、「事業所健康度診断シート(事業所カルテ)」等を作成し、その事業所特有の健康課題を分析・可視化して、健康課題の解決、職場環境の改善に向けた対策を講じる等、事業主と協会とで連携した取組を行った。

○28年7月に開催された「日本健康会議2016」において、協会全体では2,953事業所(28年6月調査)で健康宣言が行われている旨の報告を行った。28年度末時点では、46支部10,318事業所において健康宣言が行われており、日本健康会議において示された平成32年(2020年)までの数値目標の1万社以上を前倒しで達成した。

構成員ご意見

最終評価